

# 令和5年度ホタルの里づくり 1年間の活動実績



## ■ホタルと自然の授業（濃南小学校4年生）…令和5年6月7日水曜日

毎年、その年の小学校4年生の皆さんにホタルの幼虫飼育をお願いしています。

幼虫飼育の前にホタルのことをもっと知ってもらおうと事前に「ホタルと自然」をテーマに授業を行っています。

雄と雌の見分け方や、ゲンジボタルの一生をホタルの里づくりの会の会員が講師となって授業を行いました。ホタルのことを沢山学ぶ事で興味と愛情をもってホタルを育ててくれます。



## ■ホタルの水槽設置（濃南小学校4年生）…令和5年6月14日水曜日



ホタルまつりが終わると、公民館・小学校・ホタルの里づくりの会・里親の皆さんが来年もたくさんホタルが舞うことを願いつつ、幼虫飼育を始めます。幼虫飼育は、最初に水槽を組み立てて設置する事から始まります。

里づくりの会の皆さんの指導のもと、飼育水槽を3個設置し、4年生の8名の皆さんに幼虫飼育をお願いしました。

グループごとに分かれたメンバーと協力し楽しく飼育ケース（水槽）を作り上げました。

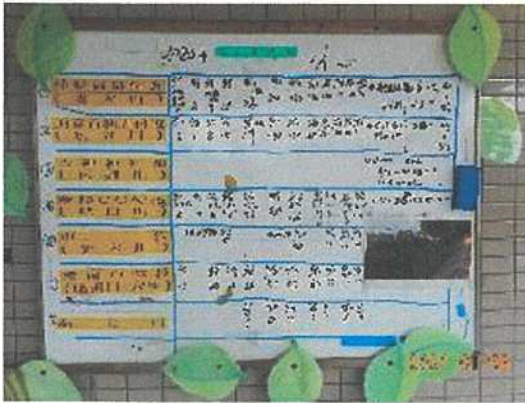
## ■ホタルまつりと竹灯り…令和5年6月17日土曜日…



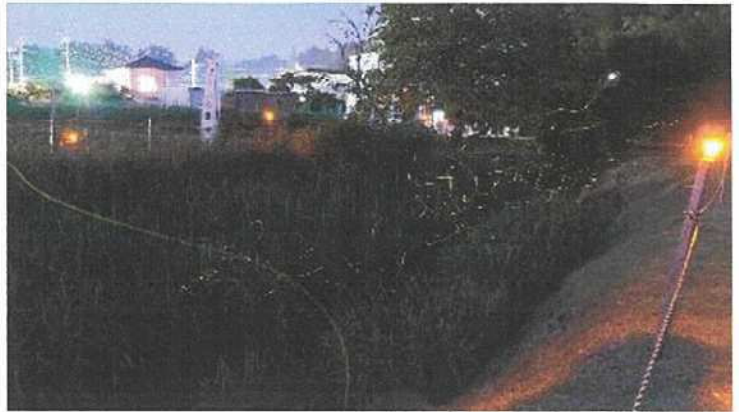
6月に入ると1年間の活動の集大成のホタルがきれいな姿で舞い始めます。ホタルの小路をはじめとした観賞スポットの案内看板やソーラー電灯の設置、ホタルの里の「のぼり旗」、観賞ベンチの設置、鶴里公民館前のホワイトボードのホタル情報・飛翔数の掲示により、毎日観賞に来町されるお客様が楽しく安全に鑑賞できるようにしました。







ホタル情報(飛翔数)掲示



ホタルの飛翔 / 6月

他県からも不特定多数のお客様が来場する「ホタルまつり」は会場内の「猪鍋のふるまい」をはじめとした飲食を中止とし、「自然観賞会」「ホルのタベミニコンサート」「竹灯り」を開催しました。ホタルまつり直前の大雨でホタルも流されてしまい今年の飛翔数は少ないものになってしまいましたが、ホタルまつりの開催で本当に沢山の来町しコンサート、竹灯りとホタルの飛翔を楽しみました。





### ■ホタルの幼虫配布～幼虫飼育 (R5.7. 19～R6.3)

ホタルまつりの日に捕まえたホタルに産卵させた幼虫を、小学校や会員・里親へ配布します。

幼虫は髪の毛の先ほどくらいしかありません。スポイトで小さな幼虫を数えながら吸い上げ水槽へいれます。

次にホタルのエサとなる巻貝(カワニナ)も近くの川から取ってきて入れました。各水槽で翌年の3月まで大切に育てます。



### ■ホタルの生息地の環境整備 令和5年9月10日 日曜日

ホタルが育つにはホタルの生息地の環境整備が不可欠です。ホタルのエサとなるカワニナが自然発生するように、カワニナ養殖場や堀切川の整備をホタルの里づくりの会の会員と公民館で定期的に行います。



鶴里公民館では、濃南小学校4年生にホタルの飼育と水槽の設置のお願いをしています。児童たちは約1年かけて幼虫の世話をし、命の大切さや自然を守ることの大切さなどを学び、班ごとに責任を持って育てています。すべての水槽からホタルの幼虫を掘り出し、近くの川に放流します。

ホタルの里づくりの会のメンバーと公民館で育てた幼虫は一般の人への参加をよびかけて掘り出しと放流を行います。





■ホタルの放流会（濃南小学校4年生）令和6年3月5日 火曜日実施



ホタルの幼虫

ホタルの里づくり活動も少しずつ動き始め、濃南小学校4年生の皆さんが昨年度から育ててきたホタルの「幼虫掘出し」と「幼虫放流」を、3月10日に実施できました。

ホタルの幼虫を一生懸命育ててくれた昨年の4年生の皆さんには、ホタルの幼虫を肌で感じ、命の大切さを学んでもらえました。そして幼虫から成虫に無事に育ってたくさん飛び交ってくれることを願いながらホタルの幼虫を放流してもらいました。

小学校の皆さんが育ててくれた幼虫は、今回も3個の水槽で370匹と昨年に比べたくさんの幼虫が育ち子どもたちは大喜びで楽しく作業を行いました。

■ホタルの幼虫掘出しと幼虫放流…令和5年3月19日(会員と一般参加)



鶴里公民館とホタルの里づくりの会会員が育て掘り出をしたホタルの幼虫約650匹を一般公募の皆さんに放流してもらいました。

幼虫放流の後、鶴里町の各河川にホタルの幼虫の餌となるカワニナという巻貝を約50kg散布しました。6月には成虫となり綺麗な姿で飛び交ってくれると思いました。

